

2. 業務の実施体制

この重点的調査観測は、国立大学法人京都大学防災研究所、同志社大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所の3機関が体制を構築し、関係する研究機関（者）の参加・協力を得て実施する。調査観測代表機関は、国立大学法人京都大学防災研究所（研究代表者：岩田知孝）とする。

調査観測項目	担当機関	担当者
研究代表者	国立大学法人京都大学防災研究所	岩田 知孝
1. 活断層の活動区間を正確に把握するための詳細位置・形状等の調査及び断層活動履歴や平均変位速度の解明のための調査研究	同志社大学理工学部	堤 浩之
	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質情報研究部門	小松原 琢
	奈良大学文学部	池田 安隆
	法政大学人間環境学部	杉戸 信彦
	一般財団法人電力中央研究所サステナブルシステム研究本部	木村 治夫
	国立大学法人京都大学防災研究所	西山 昭仁
	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	村田 泰輔
	ふじのくに地球環境史ミュージアム	中西 利典※1
	同志社大学理工学部	土井 有紀
	同志社大学大学院理工学研究科	川嶋 涉造※1
	同志社大学大学院理工学研究科	梶井 宇宙※2
	同志社大学大学院理工学研究科	Adi PATRIA※3
	同志社大学理工学部	小林 亜紀※4
	同志社大学理工学部	小松 春香※4
	同志社大学理工学部	西原 夢実※4
同志社大学理工学部	吉田 至良※4	
2. 断層帯周辺の地殻活動の現状把握の高度化に関する調査研究	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	吉見 雅行
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	大坪 誠
	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質情報研究部門	宮川 歩夢
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	内出 崇彦
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	今西 和俊
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	大上 隆史※5

	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	二宮 啓
	国立大学法人京都大学防災研究所附属地震予知研究センター	飯尾 能久
	国立大学法人京都大学防災研究所附属地震予知研究センター	田中 三恵
3. 断層帯周辺における強震動予測の高度化に関する研究	国立大学法人京都大学防災研究所	岩田 知孝
	国立大学法人京都大学防災研究所	関口 春子
	国立大学法人京都大学防災研究所	浅野 公之
	国立大学法人京都大学防災研究所	松島 信一
	国立大学法人京都大学複合原子力科学研究所附属安全原子力システム研究センター	上林 宏敏
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	吉見 雅行
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	二宮 啓
	公立大学法人大阪大阪市立大学大学院理学研究科	三田村 宗樹
	国立大学法人福井大学附属国際原子力工学研究所	大堀 道広
	国立大学法人鳥取大学大学院工学研究科	野口 竜也
	国立大学法人奈良教育大学教育学部	和田 穰隆※6
公立大学法人大阪大阪市立大学大学院理学研究科	高橋 春菜※3	
4. 地域連携・地域の内在ハザード情報共有	国立大学法人京都大学防災研究所	岩田 知孝
	国立大学法人京都大学防災研究所附属巨大災害研究センター	大西 正光
	国立大学法人京都大学防災研究所	浅野 公之
	国立大学法人京都大学防災研究所	関口 春子
	国立大学法人京都大学防災研究所	松島 信一
	同志社大学理工学部	堤 浩之
	国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	吉見 雅行

※1 令和3年度のみ

※2 令和元年度～令和2年度の期間

※3 令和2年度のみ

※4 令和元年度のみ

※5 令和元年6月～9月及び令和2年10月～令和4年3月の期間

※6 令和2年度～令和3年度の期間